

より多くの受精卵を確保するための 連続6回採卵技術

福島県畜産試験場沼尻支場

平成14年度畜産試験場試験成績概要

1 部門名

畜産－肉用牛－畜産繁殖

分類コード 07－02－38000000

2 担当者

鎌田泰之・斎藤美緒・小林 準

3 要旨

黒毛和種の改良速度を速めるには、受精卵移植技術は最も有効な方法であることから、優良雌牛の受精卵をより多く確保することによりさらに効率的に改良を行うことができる。そこで、発情周期をコントロールできる黄体ホルモン製剤(CIDR)と β カロチン含有バイパス脂肪酸(添加飼料)を活用して短期間により多くの受精卵をするため、CIDR挿入日から人工授精日までの15日間、添加飼料を1日300g給与した黒毛和種を35日間隔で6回採卵(ただし採卵3回目と4回目の間隔は63日)し、通常の採卵プログラムである2ヶ月以上の間隔で4回採卵(実際の採卵期間は平均315日)する方法を対照区として比較検討を行った。

その結果、各採卵で確保できたAランク卵の平均総数は、試験区が42.8個と対照区に比べて多数確保できた。なお、採卵成績は、試験区、対照区ともにすべての採卵において、平均Aランク卵数が4.5個以上と良好な成績であった。

また、採卵後の人工授精による受胎率は、試験区、対照区ともに100%であったが、最終採卵から受胎までの日数は試験区が長い傾向を示した。

以上のことから、CIDRと添加飼料を活用して225日間で連続6回採卵する技術は、通常の採卵プログラムに比べ、短期間により多くの受精卵を確保するのに有効な手段であると考えられた。

4 その他の資料等

なし